

教育・保育等の量の見込みについて（第2期計画）【案】

■教育・保育（幼稚園、保育園（所）、認定こども園）について、量の見込み案を整理しました。

事業	
1. 教育・保育	1) 幼稚園等（3～5歳児） （幼稚園および認定こども園のうち1号認定利用者） 【1号】保育の必要性のない家庭のうち、幼稚園等を希望する家庭 【2号（教育）】保育の必要性のある家庭のうち、幼稚園等を希望する家庭
	2) 保育所等（3～5歳児） （保育所（園）および認定こども園のうち2号認定利用者） 【2号（保育）】保育の必要性のある家庭のうち、保育所等を希望する家庭
	3) 保育所等（0～2歳児） （保育所（園）および認定こども園のうち3号認定利用者） 【3号】保育の必要性のある家庭のうち、保育所等を希望する家庭

※幼稚園等…幼稚園および認定こども園のうち1号認定利用者

（量の見込みを算出するにあたり、便宜上「保育の必要性があり、幼稚園等を希望する家庭」を「2号（教育）」と表記しています。）

※保育所等…保育所（園）および認定こども園のうち2・3号認定利用者

1. 教育・保育

1) 幼稚園等（3～5歳児）【1号＋2号（教育）】

第1期計画の見込みと実績の比較

前回は、「国の算定方法」による数字を上方修正し、過去の3年間の人口に占める利用率を3歳児と4・5歳児に分けて算出し、それぞれ対象年齢の人口推計に掛け合わせて「市独自の算出方法」を算出しました。しかし、平成28年度の時点で実績と10%以上のかい離がみられたため、国の示した算定方法に従い、平成30年度、31年度の量の見込みについて中間年における見直しを行いました。

	量の見込み				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
前回の量の見込み(人)	1,370	1,395	1,380	1,316	1,284
うち、1号	1,266	1,292	1,278	1,219	1,189
うち、2号(教育)	104	103	102	97	95
中間年の見直し(人)	—	—	—	985	944
実績(人)	1,117	1,089	1,029	986	(未)

今回採用予定の量の見込み案

■途中経過：平成27～30年の人口に占める利用率（最大値）を、3～5歳児の推計人口に乗じて算出しました。

■量の見込み：上記「途中経過」をもとに、無償化の影響を加味しました。

（アンケート調査より、無償化した場合に利用希望する施設として幼稚園等を選択した方の割合から、同じく無償化しない場合に利用希望する施設として同様の項目を選択した割合を差し引いた割合を、無償化の影響として算出）

幼稚園	実績				量の見込み				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
途中経過	1,117	1,089	1,029	986	1,010	992	974	956	938
量の見込み（人）	1,117	1,089	1,029	986	1,040	1,022	1,003	985	966
うち、1号	—	—	—	—	879	864	848	832	816
うち、2号(教育)	—	—	—	—	161	158	155	153	150
【参考】3～5歳人口(人)	3,217	3,148	3,096	2,952	2,911	2,859	2,807	2,755	2,703
【参考】利用率(%)	34.7%	34.6%	33.2%	33.4%	35.7%	35.7%	35.7%	35.8%	35.7%

※市外幼稚園の利用分は含み、市外からの市内幼稚園の利用分は除外しています。

2) 保育所等（3～5歳児）【2号（保育）】

第1期計画の見込みと実績の比較

前回は、「国の算出方法」をベースに、同じ3～5歳児の保育の必要性のある家庭を対象とする「幼稚園等」の「2号（教育）」の量の見込みと調整を行い、量の見込みを算出しました。

保育所【2号（保育）】	量の見込み				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
前回の量の見込み（人）	1,423	1,416	1,396	1,338	1,305
実績（人）	1,433	1,377	1,463	1,428	（未）

今回採用予定の量の見込み案

■途中経過：平成27～30年の人口に占める利用率の、伸び率の平均をとり、その分ずつ平成30年度の利用率を起点に推移していくものとして各年度の利用率推計を算出し、推計人口に乗じて算出しました。なお、平成30年度実績の年齢別内訳で按分を行い、3歳児の量の見込みの内訳を算出しました。

■量の見込み：上記「途中経過」をもとに、3歳児について、無償化の影響を加味しました。（アンケート調査より、無償化した場合に利用希望する施設として保育所等を選択した方の割合から、同じく無償化しない場合に利用希望する施設として同様の項目を選択した割合を差し引いた割合を、無償化の影響として算出）

保育所等 【2号（保育）】	実績				量の見込み				
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
途中経過（人）	1,433	1,377	1,463	1,428	1,485	1,495	1,505	1,512	1,519
うち、3歳児	—	—	—	—	514	517	521	523	526
うち、4、5歳児	—	—	—	—	971	977	985	989	994
量の見込み（人）	1,433	1,377	1,463	1,428	1,507	1,516	1,528	1,534	1,542
【参考】3～5歳人口（人）	3,217	3,148	3,096	2,952	2,911	2,859	2,807	2,755	2,703
【参考】利用率（%）	44.5%	43.7%	47.3%	48.4%	51.8%	53.0%	54.4%	55.7%	57.0%

※認定こども園の利用分は1号認定のみ含めています。

3) 保育所等（0～2歳児）【3号】

第1期計画の見込みと実績の比較

保育所等（0～2歳児）については、「3号」（保育の必要性がある家庭のうち、保育所等を希望する家庭）を、1・2歳児と0歳児に分けて算出することになっていました。

【1・2歳児】

1・2歳児は「国の算出方法」をそのまま採用しました。

	量の見込み				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
前回の量の見込み(人)	893	871	850	829	812
実績(人)	786	739	759	760	(未)

【0歳児】

0歳児は、アンケート結果より「日常的に子どもの面倒をみてもらえる親族や知人がいない」人の割合を算出し、それを「国の算出方法」の数値に乗じて計算しました。しかし、平成28年度の時点で実績と10%以上のかい離がみられたため、国の示した算定方法に従い、平成30年度、31年度の量の見込みについて中間年における見直しを行いました。

	量の見込み				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
前回の量の見込み(人)	278	271	264	260	255
中間年の見直し(人)	—	—	—	110	110
実績(人)	184	167	172	172	(未)

今回採用予定の量の見込み案

■平成27～30年の人口に占める利用率の、伸び率の平均をとり、その分ずつ平成30年度の利用率を起点に推移していくものとして各年度の利用率の推計を算出し、推計人口に乗じて算出しました。

（※0～2歳児は、住民税非課税世帯のみが無償化の対象となるため、影響が限定的であると考えられることから、無償化による影響は加味していません。）

保育所等 【3号(0～2歳)】	実績				量の見込み				
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
合計(人)	970	906	931	932	971	968	962	957	951
1・2歳	786	739	759	760	787	785	781	777	772
0歳	184	167	172	172	184	183	181	180	179
【参考】0～2歳人口 (人)	3,064	2,978	2,892	2,785	2,820	2,763	2,705	2,648	2,590
1・2歳	2,061	2,034	1,912	1,891	1,893	1,855	1,816	1,777	1,739
0歳	1,003	944	980	894	927	908	889	870	851
【参考】利用率 (0～2歳)(%)	31.7%	30.4%	32.2%	33.5%	34.4%	35.0%	35.6%	36.1%	36.7%
1・2歳	38.1%	36.3%	39.7%	40.2%	41.6%	42.3%	43.0%	43.7%	44.4%
0歳	18.3%	17.7%	17.6%	19.2%	19.8%	20.2%	20.4%	20.7%	21.0%